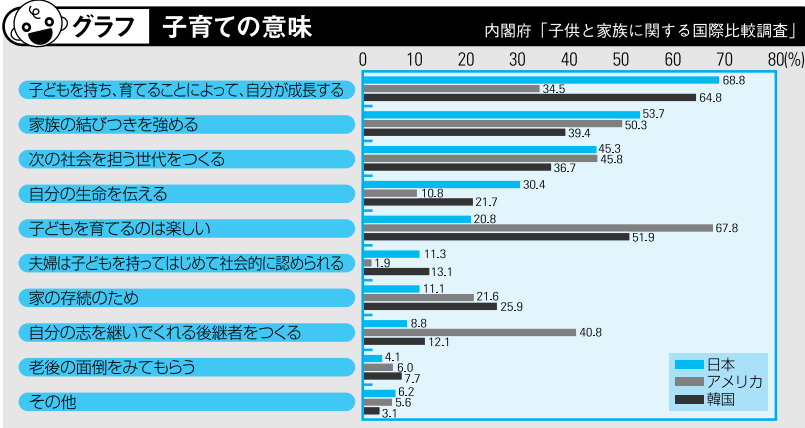


男と女の「子育て」

子育ては楽しく

日本とアメリカ、韓国の親のうち「子育ては、楽しみや生きがいである」と考える人の割合は、アメリカと韓国では98%以上なのに対し、日本では85.6%と低くなっています。「子育ての意味」についての考え方をみて、アメリカと韓国で高い「子育ては楽しい」（アメリカ67.8%、韓国51.9%）が、日本では20.8%と極端に低く、「子どもを持ち、育てることによって、自分が成長する」と考える人の割合が68.8%と最も高くなっています。

単純な比較はできませんが、アメリカ、韓国とも、日本よりも合計特殊出生率が高く（平成十二年では、アメリカは2.13、韓国は1.47）、子育てに対する意識の違いが出生率に影響しているのか



教育夢発信

駄知中学校 第二のふるさと飯田で学ぶ

駄知中学校では、平成七年度より二学年で、農業体験学習を進めています。長野県飯田市今田平などを舞台とするようになって六年目です。農業体験は、南信州観光公社に登録されている農家の方々の指導で行われます。



今年も写真のような田植え作業・リンゴの摘果などを体験してきました。摘果は、リンゴを育てる行程で大きな玉を作るために一つの枝に生えてきた五つの小さな実のうち、一つを残してあとは切り取ってしまう作業です。心を込めて作業することを農家の人たちに教えていただきま

した。二日目の午後は五平餅作りをしました。炭おこし、クルミ・ゴマすりから始めたタレ作り、きねでごはんを混ぜることを分担して行い、各自三本ずつ作って焼き、おいしくいただきました。ここでも、「千代くろみの会」という地元のグループの方々に手ほどきを受ける形で、ふれあいが広がりました。多くの地元の方々とのふれあいの中で、生徒たちは貴重なことを学びました。

「ありがとうございます」「お願いします」こうした言葉が人間関係を円滑にしてくれたり、「こんにちは」「お世話になりました」という一言が、自分の気持ちを相手に伝える温かい言葉であったりすることを身をもって学びました。

駄知に帰って、「本当の家族みたいに優しくしてもらえたい、しかつてもくれた」「畑仕事も家のお手伝いも自分からできた」「秋にまた会えるのが楽しみ。待ち遠しい」といった声が子どもたちから聞かれました。同時に普段から声を掛けてもらっている駄知の人たちや家族の優しさも知ることができた体験でした。